



報道発表資料の配付日時 3月17日(水) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和2年度(2020年度)上期観光入込客数調査について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 本調査は、令和2年度(2020年度)上期(4～9月)の観光入込客数や訪日外国人来道者数などを把握し、道の観光振興施策を進める上での基礎資料とするほか、市町村や観光事業者の方々などに広く活用していただくため作成したものです。</p> <p><配付資料> 「令和2年度(2020年度)上期観光入込客数調査」</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	道民の皆様や観光関係団体、観光事業者の方々に、広く活用していただけますよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	経済部観光局【観光企画】(担当者:柳川) TEL ダイヤルイン:011-206-6596 内線:26-591		
-------------	--	--	--

令和2年度（2020年度）上期観光入込客数調査

令和3年（2021年）3月
北海道経済部観光局

1 観光入込客数(実人数) 2, 181万人（前年同期比 ▲40.3%）

令和2年度（2020年度）4月から9月までの本道における観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による旅行需要の減少などから、2,181万人（前年同期比▲40.3%）と大きく減少し、現在の基準で統計を開始した平成22年度以降、人数は過去最低、減少幅は過去最大となりました。

4月から6月の第1四半期に61万人（同▲86.8%）まで落ち込んだ宿泊客は、7月1日から実施した「どうみん割」や同月22日から開始された「GoToトラベル」などの効果もあり、7月から9月の第2四半期においては、257万人（同▲52.7%）と第1四半期と比べ、減少幅は縮小しましたが、上期全体では、318万人（同▲68.4%）となっています。

また、日帰り客についても、1,096万人（同▲28.5%）と第1四半期から減少幅は縮小しましたが、上期全体では1,863万人（同▲29.7%）となっています。

なお、外国人観光客については、入国拒否措置等の影響から0万人（同▲100.0%）となっています。

<令和2年度(2020年度)上期 観光入込客数(実人数)>

区 分		日帰り	宿 泊	計	構成比
第1四半期 (4~6月)	道 内 客	766万人	52万人	818万人	98.8%
	前年同期比	▲31.4%	▲78.7%	▲39.9%	
	道 外 客	1万人	9万人	10万人	1.2%
	前年同期比	▲50.0%	▲94.1%	▲93.5%	
	外 国 人	—	0万人	0万人	0.0%
前年同期比	—	▲100.0%	▲100.0%		
合 計	767万人	61万人	828万人	100.0%	
前年同期比	▲31.4%	▲86.8%	▲47.6%		
第2四半期 (7~9月)	道 内 客	1,093万人	167万人	1,260万人	93.1%
	前年同期比	▲28.2%	▲38.6%	▲29.8%	
	道 外 客	3万人	90万人	93万人	6.9%
	前年同期比	▲66.7%	▲55.7%	▲56.1%	
	外 国 人	—	0万人	0万人	0.0%
前年同期比	—	▲100.0%	▲100.0%		
合 計	1,096万人	257万人	1,353万人	100.0%	
前年同期比	▲28.5%	▲52.7%	▲34.8%		
上 期 (4~9月)	道 内 客	1,859万人	219万人	2,078万人	95.3%
	前年同期比	▲29.6%	▲57.6%	▲34.1%	
	道 外 客	4万人	99万人	103万人	4.7%
	前年同期比	▲63.6%	▲72.2%	▲71.9%	
	外 国 人	—	0万人	0万人	0.0%
前年同期比	—	▲100.0%	▲100.0%		
合 計	1,863万人	318万人	2,181万人	100.0%	
前年同期比	▲29.7%	▲68.4%	▲40.3%		

※数値は端数処理の関係上、合計等が合致しない場合があります。

2 圏域別の観光入込客数（延べ人数）

市町村における令和2年度（2020年度）上期の観光入込客数を合計した総数（延べ人数）は、4,852万人と前年同期と比較して49.8%の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う旅行需要の減少に加え、各種イベントの中止や観光施設、宿泊施設が休業・一時休業の措置を行ったことなどにより、全道域で大きく観光客が減少しました。

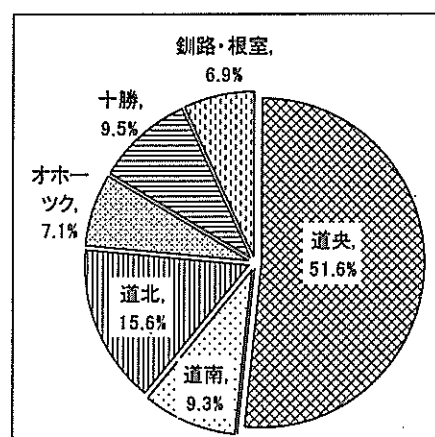
一方で、一部の市町村においては、キャンプ場など密になりにくい屋外施設の集客が好調となるなど、コロナ禍における特徴的な動きも見られました。

<圏域別観光入込客数（延べ人数）>

圏域	観光入込客数	前年同期比	増減数	構成比
道央	2,506万人	▲51.5%	▲2,659万人	51.6%
道南	453万人	▲49.1%	▲436万人	9.3%
道北	755万人	▲51.5%	▲803万人	15.6%
オホーツク	343万人	▲43.2%	▲261万人	7.1%
十勝	460万人	▲39.0%	▲293万人	9.5%
釧路・根室	335万人	▲51.9%	▲361万人	6.9%
全道	4,852万人	▲49.8%	▲4,814万人	100.0%

※数値は端数処理の関係上、合計等が合致しない場合があります。

<圏域別構成比>



3 訪日外国人来道者の宿泊延べ数

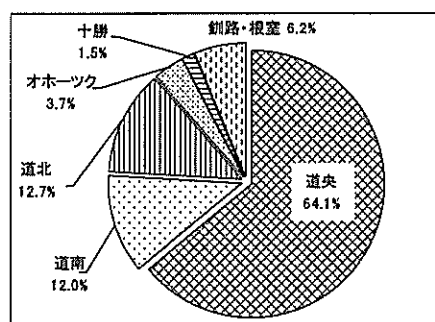
令和2年度（2020年度）上期の訪日外国人来道者の宿泊延べ数は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による入国拒否措置等の影響から、2万4,300人泊と、前年同期と比較して99.3%の減少となりました。

<圏域別訪日外国人来道者宿泊延べ数>

圏域	宿泊客延数	前年同期比	増減数	構成比
道央	15.5千人泊	▲99.4%	▲2,597.6千人泊	64.1%
道南	2.9千人泊	▲99.1%	▲306.9千人泊	12.0%
道北	3.1千人泊	▲99.3%	▲460.7千人泊	12.7%
オホーツク	0.9千人泊	▲98.7%	▲69.8千人泊	3.7%
十勝	0.4千人泊	▲99.4%	▲62.2千人泊	1.5%
釧路・根室	1.5千人泊	▲98.3%	▲84.1千人泊	6.2%
全道	24.3千人泊	▲99.3%	▲3,581.3千人泊	100.0%

※数値は端数処理の関係上、合計等が合致しない場合があります。

<圏域別構成比>



4 観光消費額単価

道内16の観光地点において実施したパラメータ調査により得られた観光消費額単価は、下表のとおりとなっています。

<令和2年度（2020年度）第1・2四半期 観光消費額単価> （単位：円）

区 分		日帰り	宿泊
第1四半期 (4~6月)	道内客	5,489 (6,763)	27,885 (24,663)
	道外客	17,226 (27,592)	59,567 (105,710)
	外国人		- (152,929)
第2四半期 (7~9月)	道内客	5,697 (4,268)	30,525 (23,046)
	道外客	20,250 (30,000)	95,194 (99,685)
	外国人		- (152,292)

※()内は前年同期の実績

外国人の消費額単価については、新型コロナウイルス感染症の影響により、算定に必要なデータが、観光庁より提供されなかったため、未算出となっています。